

環境モニタリング調査結果【陸上植物】

(3) 浦内橋周辺植生状況調査

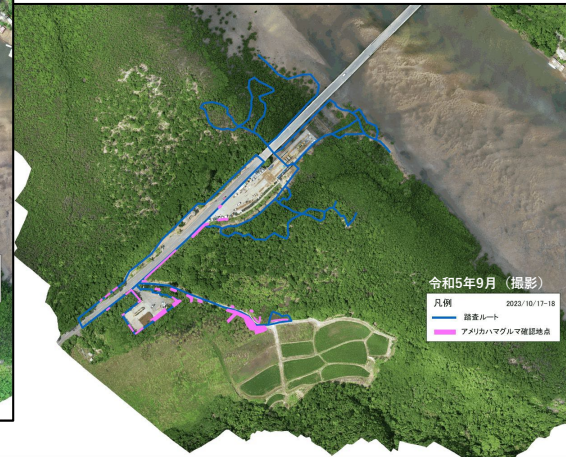
③ 外来植物の分布状況の把握

- 確認した外来植物は、アメリカハマグルマの1種で、特定外来生物のツルヒヨドリは確認されなかった。
- 確認地点は、工事前と同様、農道脇の路傍で小規模な群落や帯状に分布していたほか、資機材搬入箇所(資材置き場)を取り囲むように分布していた。
- マングローブ林内及び迂回路設置箇所において、アメリカハマグルマは確認されなかった。

確認された
アメリカハマグルマ
(令和6年春季調査時)



外来植物の分布状況(令和5年度夏季)



外来植物の分布状況(令和5年度秋季)



外来植物の分布状況(令和5年度冬季)



外来植物の分布状況(令和6年度春季)

環境モニタリング調査結果【陸上動物】

【鳥類繁殖・生息状況調査】

カンムリワシの採餌、採餌、飛翔経路といった行動様式を記録し、特に、繁殖行動に留意して調査を行った。併せて、キンバトやリュウキュウツミ等重要な鳥類の記録を行った。調査地点は、工事現場周辺での定点調査のほか、浦内橋の両岸では任意踏査（行動調査）を行った。観察には8〜10倍の双眼鏡、20倍の地上望遠鏡を用い、可能な限りデジタルカメラによる撮影を行った。調査時間は、カンムリワシの行動が活発化する日の出からの4時間及び日没前の4時間程度とした。また、定量的なデータの蓄積を目的に、カンムリワシのロードセンサス、鳥類ルートセンサス・定点調査を行った。

【イリオモテヤマネコの生息状況調査】

浦内橋左岸側2箇所(3台)、右岸側1箇所(1台)に設置した自動撮影カメラの連続撮影により、浦内橋周辺におけるイリオモテヤマネコの生息状況を把握した。

【ロードキル調査】

工事に資機材運搬ルートの利用が想定される県道215号線の仲間(大原)港〜白浜港間を、日中及び夜間に車両で低速走行し、確認したイリオモテヤマネコを含む希少動物等のロードキルの状況を記録した。

【外来生物調査(侵入状況及び駆除)】

対象地域を日中及び夜間に踏査し、西表島外からの侵入の可能性が高い特定外来生物4種(両生類のオオヒキガエルとシロアゴガエル、クモ類のハイロゴケグモとセアカゴケグモ)の工事区域周辺等における生息状況の把握を行った。確認した対象種は、可能な限り捕獲し、適切に駆除を行った。

【鳥類繁殖・生息状況調査】

R5巢外育雛・家族期：令和5年9月26日〜29日

R6繁殖期(つがい形成期)：令和6年3月25日〜28日

R6繁殖期(抱卵期)：令和6年4月14日〜17日、
5月14日〜17日

R6繁殖期(巣内育雛期)：令和6年6月12日〜15日

【イリオモテヤマネコの生息状況調査】

・自動撮影カメラによる連続撮影(データ回収等)

令和5年7月19日、8月10日、9月19日、10月18日、
11月8日、12月8日、令和6年1月17日、2月14日、
3月27日、4月24日、5月20日、6月18日

【ロードキル調査】

R5夏季：令和5年7月25日〜28日

R5秋季：令和5年10月24日〜26日

R5冬季：令和6年1月23日〜26日

R6春季：令和6年5月19日〜22日

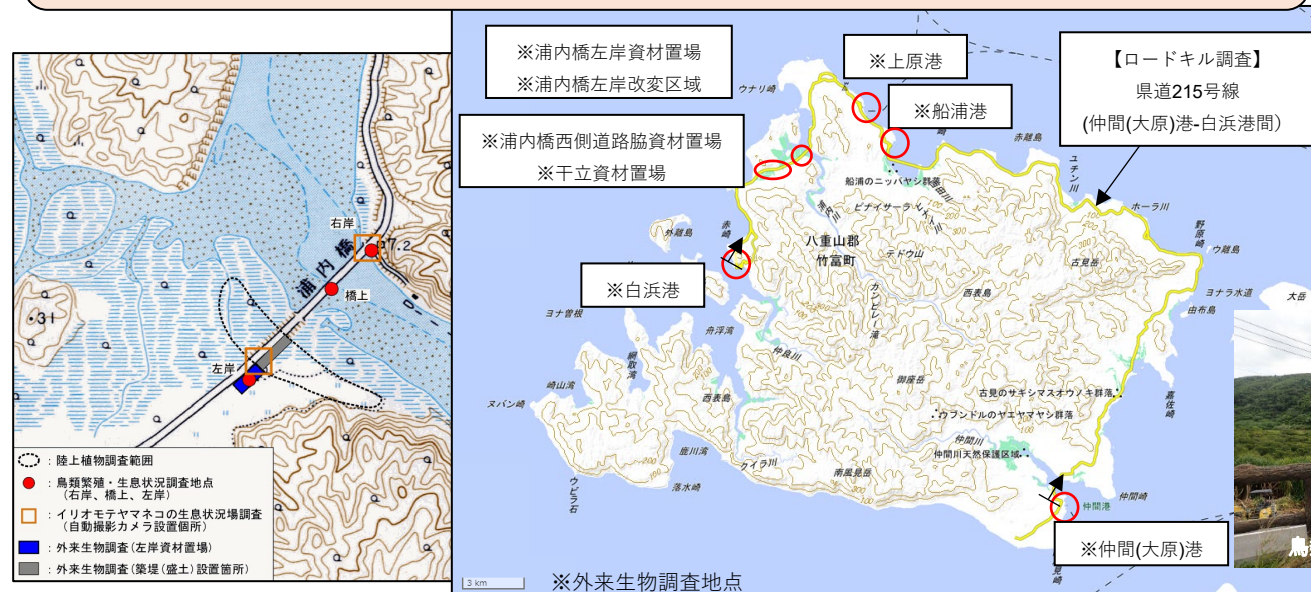
【外来生物調査(侵入状況及び駆除)】

R5夏季：令和5年7月25日〜28日

R5秋季：令和5年10月24日〜26日

R5冬季：令和6年1月23日〜26日

R6春季：令和6年5月19日〜20日



鳥類繁殖・生息状況調査

イリオモテヤマネコの生息状況



自動撮影カメラ設置状況



自動撮影カメラ



ロードキル調査

外来生物調査

環境モニタリング調査結果【陸上動物】

(1) 鳥類繁殖・生息状況調査

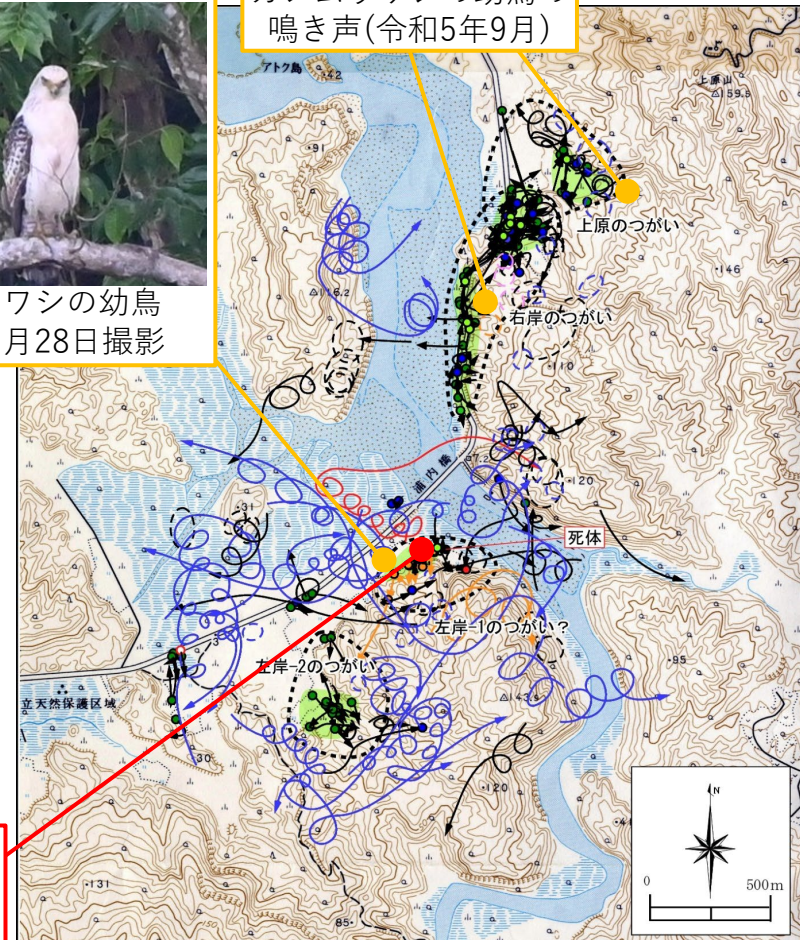
①カンムリワシ(R5年結果)

- 令和5年5月に、浦内橋南側でカンムリワシの死体を確認された。これ以降、周辺を利用する「左岸-1」のつがいの確認はなかった。
- 令和5年9月の調査では、浦内橋南側丘陵の林縁でカンムリワシの幼鳥が確認された。「左岸-1」のつがいのなわばり内であるが、繁殖期に当該つがいの確認はほとんどなく。どのつがいが繁殖に成功したのか不明であった。
- 浦内橋右岸側では、2か所で幼鳥の鳴き声が確認された。



カンムリワシの幼鳥
令和5年9月28日撮影

カンムリワシの幼鳥の
鳴き声(令和5年9月)



カンムリワシの死体
令和5年5月26日

凡例	【繁殖に関わる行動】	【採餌に関わる行動】	【幼鳥の行動】
● とまり	● 交尾	● 採餌	● とまり
○ 鳴き声	○ 求愛鳴き	● 採餌	→ 飛翔経路
→ 飛翔経路	○ 餌ねだり	● 主要な餌場	○ 鳴き声
○ つがいの確認範囲	○ なわばり鳴き		
	→ 求愛ディスプレイ		
	→ なわばり飛翔		

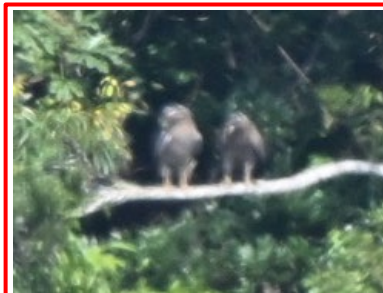
カンムリワシ繁殖状況(令和5年3月～6月、9月)

環境モニタリング調査結果【陸上動物】

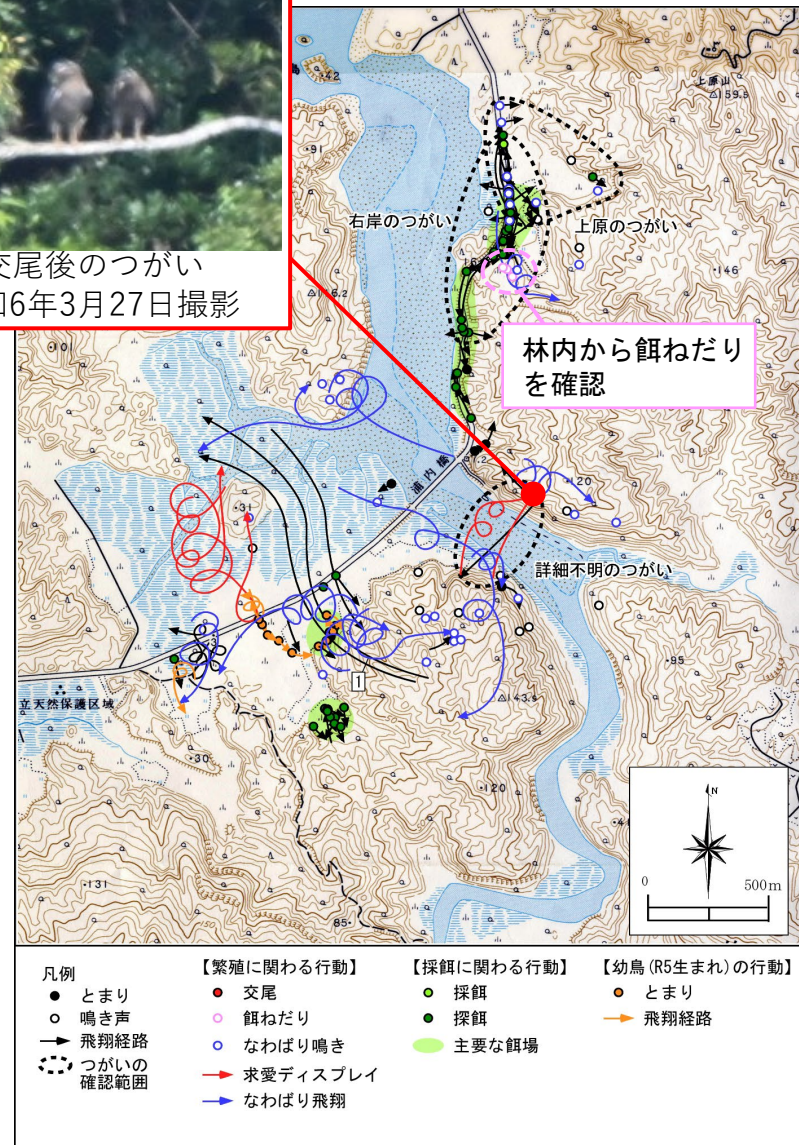
(1) 鳥類繁殖・生息状況調査

①カンムリワシ(R6年結果)

- 令和6年3月～6月の調査では、浦内橋の工事箇所周辺でカンムリワシの確認は少なかった。
- 3月調査において、浦内橋の上流右岸側の斜面で、交尾するつがいを確認された。このつがいについては確認例が少なく、詳細は不明である。
- 右岸のつがいでは、4月調査時に樹林内から雌の餌ねだりの鳴き声を確認され営巣しているものと推定された。5月以降は当該つがいが林縁で行動をとる様子を確認され、繁殖に失敗したものと考えられた。
- その他のつがいについては、繁殖を示唆する行動の確認はなかった。



交尾後のつがい
令和6年3月27日撮影



カンムリワシ繁殖状況(令和6年3月～6月)

環境モニタリング調査結果【陸上動物】

(1) 鳥類繁殖・生息状況調査

② その他の希少な鳥類

- 令和5年9月、令和6年3月～6月調査では、10目15科21種が確認された。
- 令和6年3～6月の調査では、ムラサキサギ、イシガキシジュウカラ、リュウキュウキビタキで幼鳥が確認された。
- 平成26年から令和2年は12種～16種で変動したが、調査回数及び時期が同一となった令和3年以降は19～23種となっている。また、種数変動の要因は主に旅鳥の確認状況によるものであり、留鳥、夏鳥の確認状況に顕著な変化はない。



イシガキシジュウカラの幼鳥



リュウキュウキビタキの幼鳥

希少鳥類の確認状況(R5.9月、R6.3月～6月)

No.	目名	科名	和名	渡り区分	確認状況					指定状況						
					R5 9月	R6 3月	R6 4月	R6 5月	R6 6月	天然 記念物	種の 保存法	沖縄県 条例	竹富町 条例	環境省 R1	沖縄県 R6	
1	ハト	ハト	キンバト	留鳥	12	1	6	7	13				希少		18	18
2			チュウダイズアカオバト	留鳥	9	6	11	8	11	国定	国内		希少	18		
3	ペリカン	サギ	リュウキュウシゴイ	留鳥	2	3	3	3	1				希少			準
4			ズグロミソゴイ	留鳥				2					希少	II		II
5			ムラサキサギ	留鳥	2	3	2	4	4				希少			II
6			チュウサギ	冬鳥	1	2	1	2					希少		準	準
7		トキ	クロツラヘラサギ	冬鳥		5		2	1					18		18
8	チドリ	セイタカサギ	セイタカサギ	冬鳥	3		1						希少	II	II	
9	タカ	ミサゴ	ミサゴ	冬鳥		1							希少		準	準
10		タカ	リュウキュウツミ	留鳥	2	1	2	2	1				希少	18		18
11			サシバ	冬・旅		1							希少	II		II
12	フクロウ	フクロウ	リュウキュウコノハズク	留鳥	2	1		2	2				希少			準
13	サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ	旅鳥			2						希少			
14	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	1		1						希少			準
15			リュウキュウアカショウビン	夏鳥	1		9	6	6				希少			
16	キツツキ	キツツキ	オリイコゲラ	留鳥			1						希少			18
17	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	冬鳥					1		国内		希少	II		II
18	スズメ	サンショウクイ	リュウキュウサンショウクイ	留鳥	20	11	11	10	4				希少			
19		カササギヒタキ	リュウキュウサンコウチョウ	夏鳥			1	4	2				希少			
20		シジュウカラ	イシガキシジュウカラ	留鳥	9	2	4	4	8				希少			準
21		ヒタキ	リュウキュウキビタキ	留鳥		7	6	6	5				希少			18
計	10目	15科	21種	—	12種	13種	15種	14種	13種	1種	2種	0種	20種	9種	16種	

希少鳥類の確認状況の経年変化

赤枠：本調査結果

No.	目名	科名	和名	渡り区分	確認状況								指定状況						
					H26 3-4.9月	H30 5-7.9月	R1.9月	R2.3月	R3 3-5.9月	R4 3-5.9月	R5 3-6.9月	R6 3-6月	天然 記念物 国定	種の 保存法 国内	沖縄県 条例	環境省 R1	沖縄県 R6		
1	ハト	ハト	キンバト	留鳥	●	●	●	●	●	●	●								
2			チュウダイズアカオバト	留鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少				
3	ペリカン	サギ	リュウキュウヨシゴイ	留鳥	●	●		●	●	●	●				希少	準			
4			ズグロミソゴイ	留鳥					●	●	●	●				希少	Ⅱ		
5			ムラサキサギ	留鳥	●	●	●		●	●	●	●				希少	Ⅱ		
6			チュウサギ	冬鳥	●	●	●		●	●	●	●				希少	準		
7			カラシラサギ	迷鳥							●						準		
8		トキ	クロツラヘラサギ	冬鳥						●	●					18			
9	ツル	クイナ	オオクイナ	留鳥	●										希少	18			
10	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	夏・旅						●					希少	準			
11	チドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	冬鳥	●	●	●		●	●	●				希少	Ⅱ			
12		シギ	タカシギ	冬鳥	●					●	●				希少	Ⅱ			
13		ミフズラ	ミフズラ	留鳥						●					希少	Ⅱ			
14	タカ	ミサゴ	ミサゴ	冬鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少	準			
15		タカ	リュウキュウツミ	留鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少	18			
16			サシバ	冬・旅					●	●	●				希少	Ⅱ			
17	フクロウ	フクロウ	リュウキュウコノハズク	留鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少	準			
18			リュウキュウアカオバズク	留鳥		●				●					希少				
19	サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ	旅鳥	●										希少				
20	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥					●	●	●				希少	準			
21			リュウキュウアカショウビン	夏鳥		●	●		●	●	●				希少				
22		ブッポウソウ	ブッポウソウ	迷鳥					●						希少	18			
23	キツツキ	キツツキ	オリイコゲラ	留鳥						●	●				希少	18			
24	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	冬鳥	●	●				●	●		国内		希少	Ⅱ			
25	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	冬・旅						●						Ⅱ			
26			リュウキュウサンショウクイ	留鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少				
27		カササギヒタキ	リュウキュウサンコウチョウ	夏鳥			●	●	●	●	●				希少				
28		シジュウカラ	イシガキシジュウカラ	留鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少	準			
29		ヒタキ	リュウキュウキビタキ	留鳥	●	●	●	●	●	●	●				希少	18			
30		ホオジロ	ノジロ	旅鳥						●						準			
計	12目	21科	30種	—	16種	16種	13種	12種	19種	23種	23種	21種	1種	2種	0種	26種			

環境モニタリング調査結果【陸上動物】

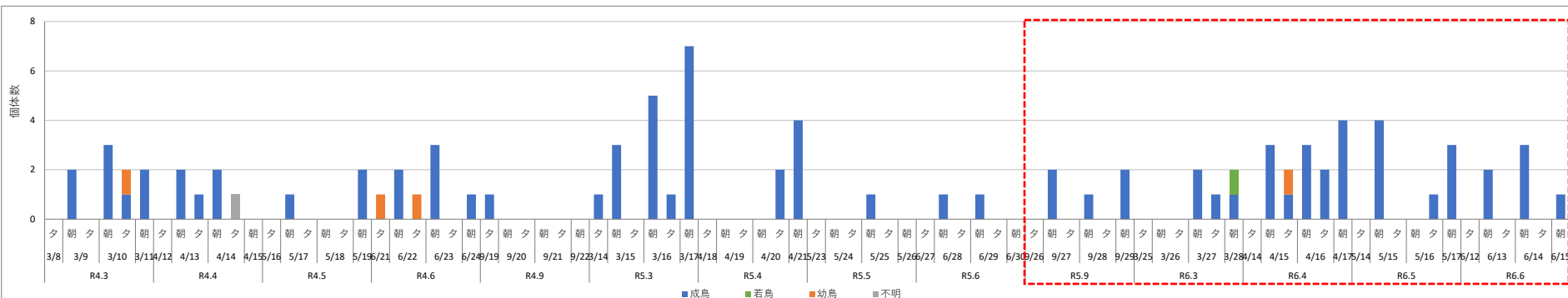
(1) 鳥類繁殖・生息状況調査

③定量調査（カンムリワシ）

- 令和5年9月、令和6年3月～6月の30回のセンサスで、カンムリワシの確認は延べ38個体。各回の確認個体数は、0～4個体であった。
- 経年におけるルートセンサス1回あたりの確認状況は0～7個体(0～1.75個体/km)となっている。
- 令和4年から令和6年にかけて、カンムリワシの確認地点に顕著な変化はみられていない。
- 幼鳥、若鳥の確認例が少数あるが、定着状況については不明。



カンムリワシ確認地点



カンムリワシセンサス結果 (R4.3月～R6.6月)

赤枠：本調査結果